

鳥栖市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）実績報告

1. 鳥栖市の CO2 排出量の削減目標

年度	【基準年】 1990 (H2)	【短期】 2021	【中期】 2030	【長期】 2050
市民 1 人当たり CO2 排出量(t)	9.8 (12.7)	8.8 (11.7)	7.8 (10.7)	2.0 (4.7)
1990 (H2) 年度比	-	▲10%	▲20%	▲80%

※カッコ内は 2017 年度の総合エネルギー統計及び都道府県別エネルギー消費統計の改訂・更新等に伴い遡及修正を行った場合の値

2. 鳥栖市の人口及び市民 1 人当たり CO2 排出量

年度	H2 (1990)	H23 (2011)	H24 (2012)	H25 (2013)	H26 (2014)	H27 (2015)	H28 (2016)
鳥栖市人口 (人) ※9 月末現在	55,572	69,311	70,717	71,490	71,959	72,191	72,679
H2 年度比	-	+24.8%	+27.3%	+28.6%	+29.5%	+29.9%	+30.8%
市民 1 人当たり CO2 排出量 (t)	12.7	13.5	13.3	13.6	13.1	12.5	11.8
H2 年度比	-	+6.3%	+4.7%	+7.1%	+3.1%	▲1.6%	▲7.1%

市民 1 人当たり CO2 排出量は、前年度（H27 年度）と比較すると減少しており、基準年度（H2 年度）と比較しても低い値となっている。

短期目標の 2021 年度に、基準年度（H2 年度）比マイナス 10%を達成するためには、市民 1 人当たり 0.1t(約 0.8%)削減する必要がある。

《参考》鳥栖市の CO2 排出量

年度	H2 (1990)	H23 (2011)	H24 (2012)	H25 (2013)	H26 (2014)	H27 (2015)	H28 (2016)	
CO2 排出量 (千 t)	産業	407	503	483	487	488	473	443
	家庭	57	124	134	152	135	122	117
	業務	145	166	181	188	180	167	154
	運輸	95	131	133	132	131	131	136
	一般廃棄物	3	10	10	10	10	9	10
	合計	707	934	941	969	945	901	860
	H2 年度比	-	+32.1%	+33.1%	+37.1%	+33.7%	+27.4%	+21.6%

出典：環境省ホームページ「部門別 CO2 排出量の現況推計」

※環境省が公表する「部門別 CO2 排出量の現況推計」は H28 年度版が最新となっている

※端数処理の関係で、各項目の値の合計値と合計欄の値が一致しない箇所がある

※H29 年度の総合エネルギー統計及び都道府県別エネルギー消費統計の改訂・更新等に伴い遡及修正を行った

H23 年 3 月の東日本大震災以降、原子力発電所の停止に伴い火力発電量が増加したことなどが原因で、電気の排出係数が大幅に上昇しており、基準年度（H2 年度）と比較すると H28 年度の CO2 排出量が多くなっている。

前年度（H27 年度）と比較すると、H28 年度は全体で CO2 排出量が減少しており、特に産業の分野での減少幅が大きくなっている。

3. 戦略別の取り組み実績

1. エコライフの普及促進

○ 小学生を対象とした環境出前講座の実施

市内全小学校の4年生または5年生を対象として、地球温暖化をテーマとした環境出前講座を実施した。

● 環境出前講座の実績（平成30年度）

学校名	学年	対象者数	実施日
鳥栖小学校	4	117名	平成30年10月10日（水）
鳥栖北小学校	4	111名	平成30年10月5日（金）
田代小学校	5	67名	平成30年10月9日（火）
弥生が丘小学校	5	185名	平成30年10月16日（火）
若葉小学校	4	77名	平成30年10月15日（月）
基里小学校	4	57名	平成30年11月20日（火）
麓小学校	4	99名	平成30年10月12日（金）
旭小学校	4	139名	平成30年10月2日（火）



環境出前講座の様子

○ 生ごみ処理機購入補助の実施

家庭ごみの減量を目的として、生ごみ処理機を購入する市民に対して、費用の一部を助成した。

平成30年度は、電動生ごみ処理機、コンポスト等の生ごみ処理容器、ディスプレイを対象とした。

対象品目	補助額
電動生ごみ処理機・ディスプレイ	購入額の2分の1（上限2万円）
コンポスト等の生ごみ処理容器	購入額の2分の1（上限1万円）

● 生ごみ処理機等購入補助の実績（平成30年度）

	電動生ごみ処理機	生ごみ処理容器		ディスプレイ
		コンポスト	箱型処理容器	
平成28年度	11件	16件	1件	0件
平成29年度	11件	16件	2件	0件
平成30年度	13件	16件	1件	0件

2. 省エネ家電・設備の普及促進

○ 省エネ、エコライフの促進

省エネ、エコライフの促進につながる情報を「とっちゃんのエコライフ」として市報に12回掲載した。

● 市報の掲載実績（平成30年度）



4月 エコ通勤をしよう	5月 生ごみの水切り	6月 ペットボトルで除湿
7月 夏野菜を食べよう	8月 室外機の手入れ	9月 生ごみを濡らさない
10月 秋も節電	11月 エコドライブ	12月 冬のインテリア
1月 暖房の効率化	2月 冬野菜を食べよう	3月 アイロン

3. 次世代交通の推進

○ 公共交通機関の利用促進

70 歳以上で運転免許証を自主返納した方、もしくは、75 歳以上の方に対して、市内全ての路線バスとミニバスに利用できる乗車券を割安で発行し、高齢者の移動手段の確保とバス利用促進を図った。

平成 25 年度までを試用期間としていたが、平成 26 年度から市内全路線を対象とし、本格実施している。

今後も高齢者の移動手段の確保とバス利用促進のため継続して実施する。

● 実績

年 度	H26	H27	H28	H29	H30
実購入者数（人）	500	521	544	532	509

4. 再生可能エネルギーの普及促進

○ バイオマスの推進

平成 25 年度から、鳥栖市浄化センターにおいて、下水処理過程で発生する汚泥を利用した消化ガス（メタンガス）発電に取り組んでいる。

発電量実績 平成 30 年度 619,490kWh
→ 約 140 世帯分の年間電気使用量に相当
※ 1 世帯当たり年間電気使用量 4,397kWh
(環境省ホームページ「エネルギー消費量（固有単位）」より)



● 実績

年 度	H26	H27	H28	H29	H30
発電量(kWh)	621,750	623,220	619,150	618,480	619,490

5. スマートコミュニティの構築

○ 市街地緑化の推進

市街地緑化の推進として、市主催のイベント等において花や木の配布を行った。

● ボランティア団体への緑化事業の支援実績（平成 30 年度）

【県】公益社団法人 さが緑の基金

【市】花とみどりの推進協議会

平成 30 年度は、8 団体に各 2 万円の補助を行っている。

● 花の日（平成 30 年 5 月 26 日）

来場者に、花 3,000 株、木 1,000 本を配布した。

● 植樹祭（平成 30 年 11 月 10 日）

来場者に木 70 本を配布した。

● その他緑化樹の配布（平成 30 年度）

平成 30 年度は、市民や町区に、木 310 本の配布を行っている。

